

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 34

2018/02/21/Wed

卒業式まであと16日 学年末テスト①

徳川吉宗、情死者処分令をす 1723年

日本初の刊新聞=現毎日新聞創刊 1872年

夏目漱石、博士号を返上 1911年

静岡県で金嬉老事件 1968年

チームひがし…生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信

真岡東中学校ホームページでも見るができます！

今年度最後の1・2学年保護者会終わる！

授業参観・保護者会、お世話になりました！

来年度へ向けての準備よろしくお願いたします！

2月19日(月)に1・2年生の授業参観、保護者会が開催されました。保護者の皆様には、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

授業参観…どの教室も、多くの参観者であふれていました。保護者の皆様にとっては中学校の授業の中身を具体的に知る貴重な機会でもあったことでしょう。

廊下では「私たちが中学生の時代には、このような授業はなかったよね」という声が聞こえてきました。授業の中身も仕方時代とともに少しずつ進化しているように思われます。

学年保護者会…1学年は武道館で、2学年は音楽室で行いました。両学年とも、この1年間の生活と学習についての振り返り、さらに進路や修学旅行についての説明が主な内容でした。2学年では、立志式やその記念行事、マイ・チャレンジ活動についての様子も紹介されました。

学校評議員の会議…この日は、学校評議員の皆様にもご来校いただきました。授業参観をしていただいた後、校長室で会議を開きました。

今回は、「学校評価」(「保護者アンケート」及び「生徒アンケート」)の結果・考察・対策等や学習指導やキャリア教育・進路指導の取組、生徒指導上の問題等について説明をし、それらについてのご意見を評議員の皆様からいただきました。

これらのご意見は、今後の学校運営に生かしてまいりたいと思います。



今月もアート文化部の作品が校長室に！

～2月の作品は…「節分」です～

校長室の入口付近に「節分」題した作品(左の写真)が飾られています。いつも季節に合ったものを制作してくれて心が癒されます。

季節といえば…2/19(月)は二十四節気の一つである「雨水」でした。雪は雨になり氷は水になっていく時期になるという、何とも早春を思わせる言葉です。さらに、3/6(火)は、冬眠していた虫がいよいよ穴から出てくる時期という「啓蟄」になります。春は着実に近付いていますね。



『3年生を送る会』が終わって…3年生は、今…



先週15日(木)に『3年生を送る会』が終わり、今週は栃木県立高校一般選抜の出願が終わりました。3年生自身も卒業が近いことを直に感じてきているでしょう。3年生が今どのような状況であるのか…それは1・2年生にもぜひ知っておいてほしいところです。

先生方が記録している「週学習指導計画案」の中に感想や反省を記入する欄があります。今回は、その中からいくつか紹介しますので、3年生の「今」を理解していただければ幸いです。

- ・卒業式の合唱の練習や『3年生を送る会』など、生徒たちがよくがんばっています。感慨深いものがあります。
- ・『3年生を送る会』が行われた。入場や退場の様を見てみると、いよいよ卒業なのだという寂しい気持ちがこみ上げてきた。残り〇〇日しかないらしい。しっかりと気持ちの面を指導していきたい。
- ・ついに『3年生を送る会』が終わりました。受験、卒業はまさに目前です。2月いっぱいには授業があるので、3年間の総まとめとして受験対策を精一杯してあげたいと思います。
- ・「特色選抜入試」が実施された。天候にも恵まれ、無事に終了することができた。初めて本格的な面接に臨んで、貴重な経験をした生徒も増えた。
- ・授業に関しては、教科書が完全に修了し、ワーク等もきちんと片付けた。残りは模試4回を予定している。丁寧に解説し、実力を最後まで高めさせたい。
- ・「特色選抜入試」が無事に終了しました。それぞれが自分なりの努力をすることができ、貴重な経験となりました。しかし、…(中略)… 本人の気持ちと結果が違い、つらい思いをしたと思います。
- ・「特色選抜」の小論文の傾向を考えると、真岡高校・真岡女子高校とも「伝えること」がテーマだった。県立高校一般選抜でも、国語の作文は、誰かに伝えるテーマがずっと続いている。今まで日本人が苦手としてきた分野だ。しかし、現代社会においては、コミュニケーション力が低いと不適合を起こしてしまう。入試がきっかけでも、考えることは大切だと思う。

3年生は受験勉強に追われる毎日…心身ともに疲れている生徒も多いはずですが、まだ寒い日が続きますが…でも必ず「春」がやって来ます。温かな暖かな「春」が…。